

兵たん

前方配置・戦闘力増進

「陸自教範」に明記

「戦争法規」では、イラク戦争のような戦争で、自衛隊が米軍などに弾薬や燃料の供給、武器の輸送などのいわゆる「後方支援」＝「兵站」を行なうとしています。安倍首相は、それを「安全だ」と擁護しますが、本紙が入手した陸上自衛隊では、兵站部隊は「できる限り前方で、主攻撃の支援に便利なよう配置する」「(戦場での) 戦闘力を維持・増進して作戦を支援する」などと「武力行使と一体不可分」の軍事行動であることを明記しています。

武力行使と一体そのものの

入手したのは、陸上自衛隊の監修した最新機種である。これを「最強の武器と可能性を付与する」と定義している。

入手したのは、陸上自衛隊機関部が監修した最新版「陸上教範・兵站」(2011年1月)です。兵站の「教範」は、「陣地攻撃」などと記され、「兵站」は、「正面に支援努力を集中できるように計画・準備する」「攻撃開始以降は、主攻撃

版「陸自教範・兵站」(20
11年1月)です。兵站の役割について、「作戦上必要とする物的資源などを確保し、適時適所に必要とする部隊などに提供する」ともいうべきで、これが適切に整理してい
ます。「攻撃開始以降は、主攻撃を重視して継続的な補給支援を行い、間断なく部隊の戦闘力を維持・増進する」まさに武力行使と一体化そのものです。

版「陸上自衛隊 基本計画」(20) ます。
「教範」は、「陣地攻撃」「兵站」
と記述した。この二つは、主に敵の
兵站について、「作戦上必要
とする物的資源などを確保
し、適時適用に必要とする
部隊などに提供することを
目的としたのである。主眼とする「兵站」
は、これを適切に管理して
「戦闘の終始を通じて衝撃
力を維持・増進する」として、
「前方に配置」などと記述した陸上自衛隊「兵站」
の「基本計画・準備編」
を重視して継続的な補給支援、整備支援を行って、間断なく部隊の戦闘力を維持・
増進する。また、武力行使の
との一体性をもつものです。

版「陸自教範・兵站」(20
年1月)です。兵站の
役割について「作戦上必要
とする物的資源などを確保
し、適時適所に必要とする
部隊などに提供することを
目的としたもので、これを適切に管理してい
ます。「攻撃開始以降は、主攻部隊
を重視して連続的な補給
と整備支援を行い、間断
なく部隊の戦闘力を維持、
増進する。まさに武力行使
の本体そのものです。

版「陸自教範 兵站」(20
年1月)です。兵站の役割について「作戦上必要とする物的資源などを確保し、適時適所に必要とする部隊などに提供する」とも述べられており、これを適切に整理していきたいと思います。「攻撃開始以降は、主攻撃での兵站運用など」として、「戦闘の終始を通じて衝撃力を維持・増進することを主眼とする」というえで、こう力説しています。「攻撃・警備支援を行い、間断なく部隊の戦闘力を維持・増進する」まさに武力行使との一体化そのものです。

同時に兵站は「安全な場所」で行うものではないことも明示しています。「兵站部門はおもながるが限り前方

あす。
などと記述した陸自教範「兵站」
は、「敵砲」は「陣地攻撃」
での兵站運用などとして、
「戦闘の終始を通じて衝撃
力を維持・増進することを
主眼とする」というえで、
こう力説しています。「攻
撃開始以降は、主攻撃
での兵站運用など」として、「
戦闘の終始を通じて衝撃
力を維持・増進することを
主眼とする」というえで、
こう力説しています。「攻
撃・警備支援を行い、間断
なく部隊の戦闘力を維持・
増進する」まさに武力行使
との一体化そのものです。

版「陸上自衛隊 兵站」(20
年1月1日)です。兵站の
役割について、「作戦上必要
とする物的資源などを確保
し、適時適所に必要とする
部隊などに提供する」とも
に、これを適切に管理して
、「教範」は、「陣地攻撃」「
戦闘の終始を通じて衝撃
力を維持・増進する」とい
う方針で、こう方針で、
「前方に配備」などと記
述した陸上自衛隊「兵站」
の本領である。この方針で、
「攻撃開始以降は、主攻撃
を重視して継続的な補給支
援、整備支援を行い、間断
なく部隊の戦闘力を維持・
増進する」まさに武力行使
との一體化そのものです。
同時に兵站は、「安全な場
所」で行つものではないこ
とも明示しています。「兵
站部隊はできるかぎり前
で、主攻撃の支援に便利な

版「陸自教範 兵站」(20年1月)です。兵站の役割について「作戦上必要とする物的資源などを確保し、適時所に必要とする部隊などに提供することもこれと適切に繩理していきたい」とあります。「攻撃的」として「戦闘の終結を通じて衝撃力を維持・増進することを主眼とする」としたうえで、「攻撃開始以降は、主攻撃での兵站運用について、「敵の兵站運用について、「前方に配置」などと記述した陸自教範「兵站」によると、
「攻撃開始以降は、主攻撃を重視して継続的な補給支援、整備支援を行い、間断なく部隊の戦闘力を維持・増進する」まさに「武力行使の一つの体化そのものです。
「陸自教範 兵站」は「健全な場所」ではないといふべきで、前半部ではできるかぎり前方で、主攻撃の支援に便利な位置に配置するといふことで、これを適切に繩理していく力説しています。「攻撃月日」は、かくして、できる限り前方で、かくして、できる限り後方にさして、どちらに、我軍の進路に沿うるか、
を第一に、敵陣線に因内する。
（参考）

版「陸自教範 兵站」(20
年1月)です。兵站の役割について「作戦上必要な物的資源などを確保し、適時適所に必要とする部隊などに提供する」とあります。
「教範」は、「陣地攻撃」での兵站運用などについて、「戦闘の終結を通じて衝撃力を維持・増進することを」という力説しています。「攻撃開始以後は、主攻撃を重視して継続的な補給支援・整備支援を行い、間断なく部隊の戦闘力を維持・増進する」まさに武力行使との一体化そのものです。

▲ 「前方に配備」などと記述した陸自教範「兵站」

站

めに先立って、できる限り前方へ、か
らすとともに、夜間の迷路に応じて
一時、河を第一線南端に封鎖する。
機 駆 部
年 2 月

版「陸自教範 兵站」(20) ます。
1-1年一月)です。兵站の 「教範」は、「陣地攻撃」
役割について「作戦上必要 での兵站運用について」、
とする物的資源などを確保 「戦闘の終始を通じて衝撃
し、適時適所に必要とする 部隊などに提供する」とも 力を維持・増進することを
に、これを適切に管理して こう力説しています。「攻
撃の開始に先立って、できる限り前方で、か
うに配置するなどとも、我軍の進撃に応じて
いはその一方を第一線部隊に割り当てる。
る子の計画・準備ある!」
「攻撃開始以降は、主攻撃
を重視して継続的な補給支
援、弾薬支援を行い、間断
なく部隊の戦闘力を維持・
増進する」また武力行使
との一体化そのものです。
▲「前方に配備」などと記述した陸自教範「兵站」
同時に兵站は「安全な場
所」で行つものではないこ
とも明示しています。「兵
站部隊はできるかぎり前方
で、主攻撃の支援と便利な
よいた配備する」とも、「
攻撃の進展に応じて、更に
前方に推進し、あるいはそ
の一部を第一線部隊に配備

版「陸自教範 兵站」(20
11年1月)です。兵站の役割について、「作戦上必要とする物的資源などを確保し、適時適所に必要とする部隊などに提供する」とも述べられており、「戦闘」は、「陸地攻撃」の兵站運用として、「戦闘の終始を通じて衝撃力を維持・増進することを主眼とする」としたうえで、こう力説しています。「攻撃の開始に先立って、できる限り前方から、かならずように配備するなどして、我軍の進撃に応じて、あらかじめその一帯を第一級陣地に配置する。」と記述した陸自教範「兵站」は、
「攻撃開始以降は、主攻撃を重視して継続的な補給支援、整備支援を行い、間断なく部隊の戦闘力を維持・増進する」。まさに武力行使の「一体化」そのものです。
同時に兵站は「安全な場所」で行いものではないことも明示しています。「兵站部隊はできるかぎり前方で、主攻撃の支援に便利な位置に配置する」として、前方に推進し、あるいはその一部を第一線部隊に配属する計画・準備である。

版「陸自教範 兵站」(20
11年1月)です。兵站の役割について、「戦車に必要な物的資源などを確保し、適時適所に必要とする部隊などに提供する」とあります。
「教範」は、「陣地攻撃で、兵站運用などして、戦闘の終結を通じて衝撃力を維持・増進することを主眼とする」というふうで、こう力説しています。「攻めに適切に管理していく」とあります。
たとえば、決戦の開始より、攻撃開始以降は、主攻撃を重視して継続的な補給支援、整備支援を行い、間断なく部隊の戦闘力を維持・増進する。また「武力行使との一体化そのものです。
▲「前方に配置」などと記述した陸自教範「兵站」
陸上幕僚監部
平成23年1月
兵 站

版「陸自教範 兵站」(20
11年1月)です。兵站の役割について、「戦士が必要とする物的資源などを確保し、適時適所に必要とする部隊などに提供する」として、これを適切に管理していく、「教範」は、「陣地攻撃で、兵站運用などして、「戦闘の終始を通じて衝撃力を維持・増進することを主眼とする」としたうえで、こう力説しています。「攻撃開始以後は、主攻撃を重視して継続的な補給支援と並行して、間断なく部隊の戦闘力を維持・増進する」まさに武力行使との一体化そのものです。

▲「前方に配置」などと記述した陸自教範「兵站」

兵 站

陸上幕僚監部

平成23年1月

兵站について一般の質問

(1) 兵站設営及び兵站は、攻撃の開始に先立って、できる限り前方で、あくまでも兵站運用などして、「戦闘の終始を通じて衝撃力を維持・増進することを主眼とする」としたうえで、こう力説しています。「攻撃開始以後は、主攻撃を重視して継続的な補給支援と並行して、間断なく部隊の戦闘力を維持・増進する」まさに武力行使との一体化そのものです。

兵站について米海兵隊科書は、「武力行使と一体不可分」と記述しています。「陸自教範」も同様の判断から、詳細な活動内容

スクの少ない範囲内で行
い、危険が迫れば簡単に撤
収できるようなものでない
ことを、陸軍の「教範」
作戦が優先され、戦闘力
を最高度に発揮させるため
の危険な補給・輸送が自衛
隊に求められることになら
ります。

自身がはつきりと示しているのです。

戦場では米軍戦闘部隊の作戦が優先され、戦闘力の危険性にあります。

「教範」陸・海・空各部隊の行動、教育訓練を適切、有効に実施するための「教科書」。部隊の指揮運用、隊員の動作などについて詳細に示しています。

「後方支援」一兵站は、政権与党が弁明するように「戦闘であるより是れ」「